

鹿大「進取の精神」支援基金 平成 29 年度留学生受入推進事業  
協定校学部留学生地域交流推進プロジェクト 参加者報告書

2018 年 6 月 8 日

学生 情報	氏名 name	イラプスピタデウィ
	出身国 country	インドネシア
	出身大学 university	アンダラス大学

1. 本プロジェクトへの応募から現在までの活動について簡単にまとめてください。

私はアンダラス大学日本語学科で4年間日本語を勉強していました。2017 年に鹿児島大学「進取の精神」奨学金募集のお知らせをみて、私は今の日本語能力があれば挑戦できると思いました。三年生のときから、日本へ行くことを望んでいましたから、ずっと一生懸命勉強をしてきました。また、日本へ行く前によくアニメや漫画を見ました。アニメの中には日本文化や日本人の生活がよく出てきたので、それを見て日本が好きになり、私は自分の目でその文化を確かめたいと思いました。つまり、私は日本の生活を体験したいと思ったのです。

今、鹿児島に来て、一年が経ちました。今まで、関わった日本人からとても親切にしてもらい、そして、たくさん日本人や留学生の友達ができました。みんな、私をよく助けてくれます。最初、日本の生活に慣れるのは大変でした。特に、冬の季節や食べ物は大変でした。しかし、今はもう慣れていきます。日本の生活はなかなか大変ですが便利だと思います。私は鹿児島の生活が好きです。鹿児島大学に通って、勉強したり、地域のイベントに参加したりしました。さらにアルバイトや遊びなどたくさん体験できました。

2. 本プロジェクトで行った地域活動について、参加者の視点から報告してください。

2017 年 12 月、私達は知覧へ行って、国際交流のイベントに参加しました。私は国と国の料理について紹介しました。まず、地域の人たちと一緒にインドネシアと韓国とブラジルの料理を作りました。私は nasi goreng と perkedel kentang という料理を紹介しました。perkedel kentang は地域の人に人気があり、うれしかったです。その後、インドネシアと西スマトラ地方について発表して、参加者と交流しました。このイベントが終わった後でみんなと一緒に武家屋敷へ行きました。武家屋敷は知覧にある一つの有名な観光地です。日本の歴史に興味を持っている外国人にとってここは面白い所だと思います。ここには7つの大きい武家屋敷がありました。武家屋敷は昔の日本が感じられて、とてもよかったです。



3. まとめ (感想や今後の展望)

そろそろ留学が終わって国に帰ります。帰ったらアンダラス大学を卒業して、できるだけ早めに日本に戻りたいと思います。語学力を高めて、国際関係の大学院に進んで、もし、チャンスがあれば外交官になりたいです。日本とインドネシアの関係がいつまでもよいことを望みます。

最後に、私に日本の生活を体験させてくださってありがとうございました。このプログラムのおかげでたくさんの人々に出会えていろいろなことを体験できて、とてもいい勉強ができました。